

宣言

～かなえられた私の思い 5年後の12の成果指標～

1. 認知症を持つ私の個性と人権に十分な配慮がなされている
2. 私のできることは奪わず、できないことを支えてくれるので、バカにされ傷つき不安になることはない
3. 私が言葉で十分説明できないことがあることも理解されている
4. 趣味やレクリエーションなど人生を楽しみたい私の思いが大切にされている
5. 社会(コミュニティー)の一員として社会参加が可能であり、私の能力の範囲で社会に貢献している。
6. 若年性認知症の私に合ったサービスがある
7. 私の身近なところにどんなことでも相談できる人と、つねに安心して居られる場所がある。
8. 私はまだ軽いうちに、認知症を理解し、将来について決断することが出来た
9. 認知症を持つ私に最初から終いまでの切れ目のない医療と介護が用意されて、体調を壊したときも、その都度すぐに治療を受けることができる
- 10.私は、特別具合の悪くなった一時(いつとき)を除いて、精神科病院への入院に頼らない穏やかで柔らかな医療と介護を受けて暮らしている
- 11.心と脳の働きを鈍らせる強い薬を使わないでほしい、認知症を治す薬を開発してほしいという私の願いにそった医療と研究が行われている
- 12.認知症を持つ私を支えてくれている家族の生活と人生にも十分な配慮がなされている

平成30年(2018年)までに、認知症の人が、以上のことを言えなければならない。

私たちは、次のように提案します。

1. 2015年2月に中間年評価のための「第3回つどい」を開催する
 - ・2012年に行ったデルファイ法の経験を活かし、京都の認知症ケアをモニターする
 - ・認知症にかかわるすべての人が評価に参加できる手法と文化を形成する
2. 2018年2月に最終年評価のための「第4回つどい」を開始する
 - ・それまでに認知症の人とともに具体的な評価方法について検討する